

会 議 録

| | |
|-----------|---|
| 会 議 の 名 称 | 令和7年度第1回所沢市産業振興ビジョン推進会議 |
| 開 催 日 時 | 令和7年8月20日(水) 14:00~16:00 |
| 開 催 場 所 | 所沢市役所 604会議室 |
| 出席者の氏名 | (会議に参加した委員) 河藤 佳彦、三上 誠、中野 陽子、大木 敬治、 堺 奈都、朝倉 はるみ、観山 恵理子、幸物 正晃 |
| 欠席者の氏名 | 小林 つぐみ、見澤 英一、宮嶋 和義 |
| 説明者の職・氏名 | なし |
| 議 題 | (1) 所沢市産業振興ビジョンにおける令和6年度実績について (2) 各重点推進事業における令和7年度の取組内容について (3) 令和6年度所沢市地域経済動向調査の概要について (4) 今後の会議の進め方について (5) その他 |
| 会 議 資 料 | ・ 資料1: 所沢市産業振興ビジョン推進状況確認シート (令和7年3月末) ・ 資料2: 各重点推進事業における今年度の取組内容 ・ 資料3: 令和6年度 所沢市地域経済動向調査 結果概要 参考資料 ・ 委員名簿 ・ 席次表 ・ 所沢市地域経済動向調査 ~令和6年度調査~ 報告書 ・ 資料1別紙: 所沢市産業振興ビジョン推進状況確認シート (その他事業) |
| 担 当 部 課 名 | 産業経済部 部長 小池 純一 産業経済部 次長 吉川 泰央 産業経済部 産業振興課 課長 石川 純也 副主幹 町田 昌紀 主査 安齊 克徳 主任 田中 浩司 主任 濱仲 拓巳 主事 小山 夏葉 産業経済部 商業観光課 課長 松本 圭四郎 主幹 村田 貴紀 産業経済部 農業振興課 課長 前田 亘一 事務局 産業経済部 産業振興課 電話 04-2998-9157 |

様式第2号

| 発言者 | 審議の内容（審議経過・決定事項等） |
|--------|---|
| 産業振興課長 | 開会 |
| 産業経済部長 | あいさつ |
| 産業振興課長 | 委員の任期について説明。 |
| 各委員 | 自己紹介 |
| 事務局 | 自己紹介 |
| 産業振興課長 | 会議の公開・非公開の取扱い |
| | これからの進行については、本推進会議条例第5条の規定により、会長に議長をお願いする。 |
| | 議事に入る前に、本推進会議における会議の公開及び議事録の作成の取扱いに関して、確認をお願いしたい。 |
| 会長 | 事務局より本推進会議における会議の公開及び議事録の作成の取扱いについて事務局案の説明をお願いしたい。 |
| 事務局 | 事務局案としては、会議録の記載は要約方式、発言者は単に「委員」として個人名を表記しない方法にしたいと考えている。 |
| | 議事録については、今後、会議資料となるとともに、公文書公開の対象文書となる。 |
| | 議事録は、各委員に確認の上、会長の承認をもって確定としたいと考えている。 |
| 会長 | 会議の公開・非公開について、会議の原則公開に従い、本推進会議は「公開」とし、審議の過程で、公開することにより、著しい支障が生じることが想定される場合には、改めて皆様にお諮りする。 |
| | 議事録の作成について、会議録の記載は「要約方式」、発言者は「委員」とし、議事録の確定は各委員に確認の上、会長の承認をもって確定とすることでよいか。 |
| 委員 | 了承 |
| 会長 | 議事を進める。本日、傍聴希望者はいるか。 |
| 事務局 | 傍聴者はいない。 |
| 会長 | それでは、議事を進める。 |

| | |
|-----|---|
| 会長 | <p>議事（１）所沢市産業振興ビジョンにおける令和６年度実績について 議事（２）各重点推進事業における令和７年度の取組内容について 議事（１）及び議事（２）については、関連性もあるため連続して事務局より説明を求めることとし、質疑は説明の後合わせて行うことよいか。</p> |
| 委員 | 了承 |
| 事務局 | 資料１及び資料２に基づき説明 |
| 会長 | 感想や具体的な意見など全ての委員からの発言を求める。 |
| 委員 | <p>いろいろなことを検討して行われていることが伝わった。それでも改善しないといけない。</p> <p>重点推進事業１の企業誘致活動推進事業について、企業誘致は難しい話だが、テーマを絞るという検討はしているか。地域の特色を出してPRをしてはどうか。鶴ヶ島を例に出すと、まず「ロボット」と決める。別にその業種だけに来てもらいたいというわけではなく、それに関連した様々な業種の企業が集まってくる。</p> <p>また、重点推進事業４の地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業については、金額的に使い勝手が良くなく、どういったレベルに使ってもらいたいかわからない。周知が足りず一次募集では申請件数が少なかったため二次募集まで行ってしまっているのであれば、知ってもらって、使ってもらって、リピートしてもらおうことが望ましい。どの程度の認知度なのか分からないが、去年も確か件数が多くはなかった記憶がある。研究をしたい企業にとって補助金はありがたい。</p> |
| 事務局 | <p>奨励金と補助金については製造事業者をターゲットにしている。当市の製造品出荷額や雇用の増進等を目的として事業化したもの。ただ、製造事業者は参入できる土地とできない土地があるため、数字は低くなっている。三ヶ島工業団地の拡張が進めば、立地する企業も増え、実績も上がっていくものと思われる。</p> |
| 会長 | <p>製造業の中でも、どういった分野に優位性を持っているかを見える形で誘致政策を取り組むと良い。</p> <p>重点推進事業４についても同様で、何か募集をする時は特色を出す等、戦略的に考える必要がある。</p> |
| 委員 | <p>重点推進事業８の「まち」×「みどり」のおさんぼコース道標等整備事業について、市民の健康のためにも重要。観光資源として考えると、数値化するのは難しいことは承知だが、何回か調査をかけて市外の方が使っているかという実態調査をかけられると良い。また、市のお金で整備をしているので、どこかでお金を落とさせる、稼げる仕組みを取り込んでいただくと良い。</p> <p>いろいろなコースができると、いろいろな楽しみ方ができる。フォトスポットなどの映える場所を、作る側が意識していったほうが良い。リピートしたいと思えるような仕掛けを入れていただけるといい。</p> <p>重点推進事業９の広域連携による観光振興事業について、西武線沿線で</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>会長</p> | <p>手を組んでということで、沿線住民に来てもらうことも大事だが、観光地になるには沿線以外の遠くからも人が来てもらえるような取り組みをした方が良いと思う。地元愛の醸成という意味で、ベルーナドームでの沿線住民の始球式が良いと思うが、観光という面で考えると沿線住民プラス遠くの人にもチャンスをあげてもいいのでは。</p> <p>また、何度も言って申し訳ないが「ダイア圏域」のイメージが湧かない。例えば北海道の道南や道東など、どの辺りなのかが分かればいい。勇気をもって別のネーミングを絞り出してもらいたい。</p> <p>もう一点、重点推進事業12のインバウンド戦略推進事業について、県の組織と連携するのはすごく良い。もう一つの情報発信として、地元に住んでいる外国人に協力してもらってもいいと思う。情報発信など、住んでいる人が一番地元の魅力を分かっている。</p> <p>調査については、RESASも活用されると良い。観光客のリポート・観光資源の有料化の話も重要。有料化して利用者が減るかということ、必ずしもそうではない。有料であっても来たいと思わせるようにすることが大事。</p> |
| <p>委員</p> | <p>重点推進事業7の認定農業者等経営改善推進事業にも関連することだが、新規就農総合支援について、今後年齢が上の方にも支援を広げていきたいとのことだったが、何歳くらいまでを対象とするのか。また、国からの補助の対象外となるため財源はどうするのか。</p> <p>次に、重点推進事業11の地産地消推進事業について、学校給食の導入支援について、学校給食はメニューが固定であることから、地元の農産物を入れるとなるとそれほど生産規模の大きくないことが課題となる。同事業の地元原料や伝統食品などを組み込んだ給食にも活用すれば、給食に地元産のものを入れられるのではないか。</p> <p>重点推進事業14の新規就農総合支援事業について、雇用労働力として働かされている方への支援ということで、まさに近年、その農業の労働力が非常に多様化している。農業の労働力需要は季節性のものが多く、周年での雇用が難しい。一定期間だけお願いしにくいという問題があるので、そうした労働力の需給マッチングについて市でできることがあるのではないか。それについては重点推進事業15の就労チャレンジ支援事業などと連携してもいいのではないか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>対象年齢を低くするのは新規就農者についてなので、そちらについて。国の補助対象は45歳までとなっており若すぎる。JAが研修を受け入れている年齢が65歳なので、そちらに合わせて60歳以上の方を対象にしたい。財源は市で負担。既に仕事をしている方や、年金を受け取っている方にも門戸を広げていきたい。</p> <p>学校給食について、所沢産の野菜だけで賄うのは到底不可能。ご提案いただいたレシピとの連携は大変興味深い。所沢の特徴を活かしたレシピがあったら、給食を作っている栄養士と連携して情報共有するとともに、学校での食育にも活かしてもらいたい。</p> <p>雇用については、農業法人や企業に入ってもらえるのが大事だと考える。農業ボランティアについては既に行っているが周知が足りなく数が少ないため、しっかり進めていきたい。また、農家がボランティアや季節性の労働力をあまり好まないのは、安定した労働力を得られないからだと思われる。</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>る。他の事業とも連携して機会を増やすことが大事だと考えている。</p> <p>日本の経済は大切な時期に入っている。価格転嫁をして賃上げをしていかないといけない。このビジョンでいろいろな補助制度を取り組んでいただいている。ここに連ねていただきたいキーワードとして「高付加価値化」を挙げたい。「今売っているものを適正な価格に見直してください」というのはいずれ限界が来る。付加価値が高いものを創出し、しっかり転嫁した価格で販売していく。こういった高付加価値化を目指す取り組みを行う企業を補助するという目線を組み込んでいただくことで、国の経済全体の中でこのビジョンも機能していくのではないかと。</p> <p>二つ目に、施策をどう届けていくかという視点。商業観光課の取組内容の説明にあった「若手職員の発案で、チラシを郵送ではなく商店会の会長に直接届けに行った」という取り組みは、素晴らしい話である。国も連携していけると嬉しい。こういうプッシュ型の発信をしていくことが大切。他方で、埼玉県庁がWeb上に事業者支援情報検索アプリを作っており、国・県・市の補助メニューを検索できるサービスを提供している。所沢市は掲載していなかったように思える。プッシュ型に加え、オンライン上に有効なコンテンツを置いていくというのも大切。</p> <p>三つ目、国の補助が届かないところに支援の対象を広げていこうかという考え方は非常に素晴らしい。国の補助はハードルが高かったりする。同じ方向性でも、国・県の制度ではカバーできないところを支援する制度設計をしていくというのは、各機関の役割分担という観点でも大切な考え方の一つだと承知。</p> |
| 会長 | <p>Web上でのシステムは事務局も調べていただき、是非有効活用を。</p> |
| 委員 | <p>商店街の立場としては、それぞれの商店街に声をかけていただき、いろいろな情報も含めて若手職員と語れるようなかたちになっていくのは非常に素晴らしく思うので、より積極的にやっていただきたい。</p> <p>また、賑わい創出について、道標を作っていく中でちょっとした休憩所が作れないかという話もあったが、新しく作ることはなかなか大変である。必ずしも近くに商店街があるわけではないし、昔からあるお店も少し外れたところにあることが多いため、道標を作るのに絡めて考えていただきたい。</p> <p>それから、都内などから新しく住み始めた市民、「新住民」も多くなってきていると思う。昔から住んでいる人からすると何の変哲もないところでも、新しい発見として「この街が面白い」と思ってもらえる地域の案内・道標があると良い。古くなってみずぼらしくなっているような道標もあるので、そちらも新しくしていけるように。</p> <p>商店街について、生産性の向上に伴って利益を上げていきたい、とそれぞれのお店がコロナを乗り越えて生きてきた。体質は非常に強くなっていて、かなりのお店が形を変えながらも良い業績を残している。しかし、明るい展望というのは全くない。政治が全く機能していない。</p> |
| 委員 | <p>他の地域の人に「エミテラスは1回行けば満足」と言われる。なので、流行っている内に他のことをいろいろ活性化できればいいと思う。</p> <p>おさんぽコースを実際に歩いたが、地元のお店があまり無く休めるところが無かったので、土日だけでもちょっとした出店等があったら面白い。</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>あとは、駅から近いおさんぽコースは良いが、車でないと行けないような場所については駐車場が整備されていると市外の人でも来やすいのではないかな。</p> <p>また、他市の人から言われたが、所沢市は夏祭りがすごく多い。地域の商店街の方々とも連携できればもっと楽しくなるのではないかな。</p> <p>ソラバルも楽しみにしている。普段行かないようなところにも行けるので楽しみにしている。</p> <p>最後に、若者の働き方としてネットで検索して働く時代。元々の仕事が休みの時に、タイミー等で検索してさくっと働いてくる。難しいかもしれないが、働きたい人と働いてほしい人とのマッチングのように地域の活性化に繋がれば良い。その後、アルバイトから正社員になれたりすれば理想的なのではないだろうか。</p> |
| 委員 | <p>西所沢駅は空き店舗が多かったが、開業セミナーを経て続々個人店が進出してきている。</p> <p>商業の部分について、重点推進事業には入っていない。街が明るくなるのは非常に良いことだと思うので予算も上げて、国からも支援いただければと思う。</p> <p>重点推進事業6の事業継続力強化支援事業、BCP(事業継続計画)について重点施策なのに予算がゼロである意味が分からない。10万円でも20万円でもつけてもらいたい。BCPは絶対に必要なこと。所沢は地盤が固く災害が今までないので無関心。しかし今後なにがあるか分からないので、予算はつけてもらいたい。</p> |
| 事務局 | <p>重点推進事業には入っていないが、主要施策の中に「商店街の活性化」として入っている。</p> |
| 会長 | <p>商業施策に加えて、農業施策も非常に頑張っている。商業施策についてはそれだけ積極的に取り組んでいるのであれば、資料に記述したほうが良い。</p> <p>非常に多くの施策を実施していることが分かった。それを具体的に示してフィードバックし、チェックしていくというPDCAを回していければよい。</p> |
| 会長 | <p>議事(3) 令和6年度所沢市地域経済動向調査の概要について 議事(3)について事務局より説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>資料3に基づき説明。</p> |
| 会長 | <p>質疑、意見はあるか。</p> |
| 会長 | <p>これは定点観測的な事項と、市の施策に対しての意見によって構成されている。</p> <p>この調査の結果については、会議で議論の内容と併せ、報告書の一つの基礎資料として有効活用してもらいたい。</p> |
| 委員 | <p>従業員数10人未満の企業の回答が57.4%、100人未満では96.7%となっている。小規模と中規模の事業者が、何に悩んでいるか</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>データが違って来る可能性があるので、そこまで分析できると良いと思う。</p> |
| 会長 | <p>施策を展開するにあたって規模別という区分は重要である。クロス分析を行うことで、より細かいものが見えてくる。</p> |
| 委員 | <p>前回は質問したが、経年で調査しているのが経営体ごとの経済的変化をデータとして見るとより具体的な分析ができるのではないかと。 また、個人情報の記載があるが必須なのか。</p> |
| 事務局 | <p>質問項目に事業承継の件があり、事業承継センターとアポイントを取ってもいいという回答があった方に限り活用している。</p> |
| 委員 | <p>経年で同じ方が回答していることが分かるデータが複数あればかなり有益な情報になる。</p> |
| 会長 | <p>時系列データがかなり蓄積されてきていると思うので、実態分析といった項目を入れ、その中で時系列分析をしていくと色々なことがクリアになっていくと思う。</p> |
| 会長 | <p>議事（４）今後の産業振興ビジョン推進会議の進め方について 事務局より説明を求める。</p> |
| 事務局 | <p>大きな流れとして、令和６年度・７年度の２年間の会議を通じて、所沢市の産業施策における政策立案に対して、推進会議からの意見を取りまとめ、意見書を作成することを予定している。この意見書は、所沢市が各委員からの意見を、地域産業の活性化に係る事業の推進に活用すること目的に作成するものである。 今年度についても、昨年度に引き続き産業振興ビジョンの進捗確認に関する議題のほか、所沢市の産業施策における、現在及び今後の課題などについて、ご意見をいただきたいと考えている。</p> |
| 会長 | <p>事務局からの説明のとおりで良いか。</p> |
| 委員 | <p>了承</p> |
| 会長 | <p>議事（５）「その他」 議事（５）「その他」として事務局より連絡事項はあるか。</p> |
| 事務局 | <p>第２回の会議については、令和７年１１月１７日、月曜日、午前１０時から市役所６０４会議室で開催を予定している。 また、第３回の会議は令和８年１月２６日、月曜日、午後２時から市役所８階大会議室で開催を予定している。</p> |
| 会長 | <p>議事は以上となる。進行を事務局に返す。</p> |
| 事務局 | <p>閉会</p> |
| | 以上 |